

# CD-R TITLE PRINTER CW-50

## アプリケーションCD-ROM ver.3.0

### Windows®対応

### 取扱説明書

本製品を使用したCD-Rメディアへの印刷は、CD-Rメディアにデータを記録する前に行われることをお勧めします。

すでにデータが記録されているCD-Rメディアに印刷した場合、データ破損の保証は致しません。

また、当社はいかなる理由においてもCD-Rメディアの記録データの保護ならびに破損についての責任は一切負えませんので、あらかじめご了承ください。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

# CASIO®

## ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利は全てカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft, Windows, Windows Media, およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Pentiumは米国インテル社の登録商標です。

Macintosh, Mac OSおよびTrueTypeは、Apple Computer, Inc.の米国および各国での登録商標です。

Easy CD Creatorは、米国ロキシオ社の商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2002 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本取扱説明書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いいただきますようお願い致します。

### あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。
- 本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトが完成するかなり前に印刷されます。このため、取扱説明書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。ご了承ください。

- 「CD-R TITLE PRINTER」アプリケーションは、Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XP上で動作するアプリケーションソフトウェアです。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。
- 動作環境については、15ページをご覧ください。

## 安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

## 警告

### 煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. USBケーブルをはずす。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて



電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

## 警告

### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて



電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない



● 電源コード/ACアダプター/USBケーブルやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

### 電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて



濡れた手で電源コード/ACアダプター/USBケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。

### 落とさない、ぶつけない



本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. USBケーブルをはずす。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

## 警告

### 分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

### 水、異物はさける



水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. USBケーブルをはずす。
2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

### 火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

### 袋をかぶらない



本機が入っていた袋をかぶらないでください。窒息の原因となります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**⚠ 注意**

**電源コード/ACアダプター/USBケーブルについて**

- ⊘ 電源コード/ACアダプター/USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ストープ等の熱器具に近づけない
  - 電源コード/USBケーブルのプラグを抜くときは、電源コード/USBケーブルを引っ張らない（必ず電源コード/USBケーブルのプラグを持って抜く）
- ❗ 電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは、電源コード/USBケーブルのプラグをコンセント/コネクタから抜く
- 電源コードのプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

**重いものを置かない**

- ⊘ 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

**⚠ 注意**

**置き場所に注意する**

- ⊘ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
  - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

**不安定な場所に置かない**

- ⊘ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**コネクター部への接続注意**

- ⊘ コネクター部には、付属品以外のものを接続しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

**高温注意**

- ⊘ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどをおそれがあります。

**テレビ・ラジオのそばでのご使用について**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

**ご使用上の注意**

- 本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、極端な高温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
  - プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
  - 本機の上に物をのせないでください。
  - 分解しないでください。故障の原因になります。
  - 落としたり、倒したり、たたくなど強い衝撃を与えないでください。
  - プリンターヘッドに指などを触れないでください。
  - ディスクトレイを無理に引き出さないでください。ディスクトレイは電源コード/ACアダプター/USBケーブルを接続しなければ引き出せません。

**もくじ**

安全上のご注意	1
ご使用上の注意	4
箱の中身を確認してください	6
付属のCD-ROMおよびCD-Rについて	7
本書の見かた	7
本書での説明について	7
本書の構成	9
こんなことができます	12
各部の名前とはたらき	14
本ソフトを使うには	15
パソコンの仕様と動作環境	15
ソフトをインストールする	16
インストールする	16
ソフトを削除する	18
電源について/パソコンと接続する	19
取り付ける	19
取り外す	20
インクリボンカセットの取り付けかた/取り外しかた	21
インクリボンカセットを取り付ける	21
インクリボンカセットを交換する	24

## おたためし印刷編

まずは作ってみましょう ..... 25

- レーベルを作成する ..... 25
- 印刷する ..... 29
- データを保存する ..... 30
- ソフトを終了する ..... 30

## らくらく作成編

レーベル形式を選ぶ ..... 31

アシスタント機能について ..... 33

- アシスタント画面の使いかた ..... 33

メイン画面について ..... 34

文字データを読み込んでレーベルを作る ..... 36

- CD-Textの文字データを読み込む(音楽用レーベル) ..... 36
- Media Playerを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用レーベル) ..... 37
- Easy CD Creatorを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用レーベル) ..... 39
- ファイル名やフォルダ名を読み込む(データ用レーベル、デジタルカメラ用レーベル) ..... 40

入力するときに便利な機能 ..... 42

作成したデータを保存する ..... 43

データ呼び出す ..... 44

データ一覧ファイルを作成する ..... 44

レイアウトを設定する ..... 45

- 印刷パターンを設定する ..... 45
- 書式レイアウトを設定する ..... 47

フォントの種類、形、大きさを設定する ..... 48

画像を挿入する ..... 50

- ファイルを選択して画像を挿入する ..... 50
- パソコンの画面を取り込む(キャプチャー) ..... 50
- 画像の縦横比・位置を設定する ..... 52
- カラー画像について ..... 53

## こだわり作成編

オリジナルレーベルの作りかた  
(フリーテキスト形式・フリーデザイン形式) ..... 54

- 自由にテキストを入力・編集したいときは ..... 54
- テキストも画像も一緒にデザインしたいときは ..... 54

フリー形式のメイン画面について ..... 55

- フリーテキスト形式のメイン画面について ..... 55
- フリーデザイン形式のメイン画面について ..... 55
- 各項目の説明 ..... 56
- ツールバーについて ..... 56

入力したテキストを編集する ..... 57

- フォントの種類・大きさ・形を設定する ..... 57

レーベルの背景に画像を挿入する ..... 58

フィールドについて ..... 59

- フィールドの種類 ..... 59
- 共通の操作 ..... 59

文字を入力する ..... 60

- 編集エリアに文字を入力する ..... 60
- フィールド内の文字を編集する ..... 61
- 文字フィールドを削除する ..... 61

画像を挿入する ..... 61

- 画像を挿入する ..... 61
- 画像フィールドを削除する ..... 61

フィールドのサイズを変更する ..... 62

フィールドを配置する ..... 62

- フィールドを配置する ..... 63

フィールドのプロパティ ..... 64

入力するときに便利な機能 ..... 65

## 印刷・その他編

印刷する ..... 66

- 印刷する ..... 66

詳細設定について ..... 69

- 印刷時の設定をする ..... 69
- 定型句を登録/削除する ..... 69
- レイアウトを設定するときの詳細設定をする ..... 70

ヘルプ機能について ..... 71

- ヘルプを使う ..... 71

お手入れの方法 ..... 72

定型句一覧 ..... 73

こんなときは(トラブルシューティング) ..... 73

エラーメッセージ一覧 ..... 75

仕様 ..... 76

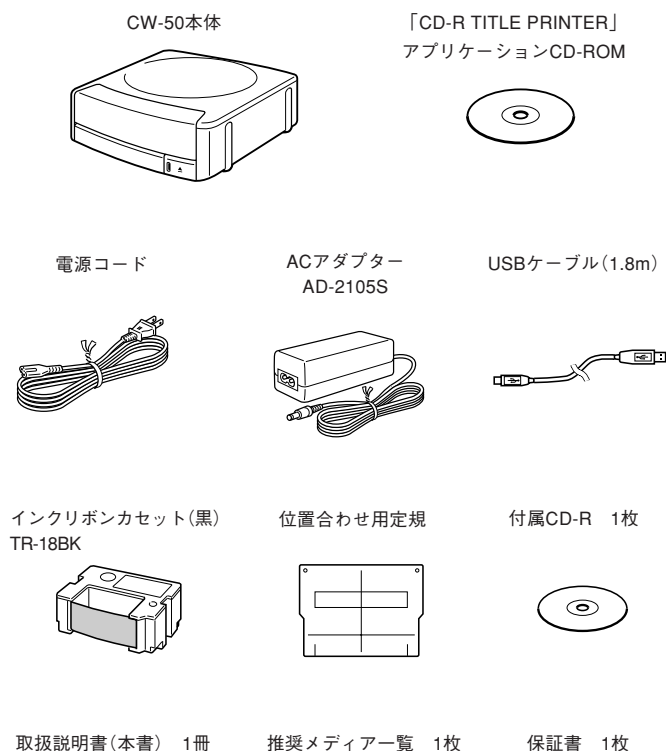
別売品一覧 ..... 76

カシオテクノ・サービスステーション ..... 81

カシオお客様ご相談窓口 ..... 81

## 箱の中身を確認してください

次のものが入っているかどうか、お使いになる前に確認してください。もし、付属品が全部そろっていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



## 付属のCD-ROMおよびCD-Rについて

### 取扱上の注意事項

- ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズなどを付けないようにお取り扱いください。
- ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい乾いた布で、内周から外周に向かって、放射状に軽く拭き取ってください。レコード用クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
- ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペンなどのペン先の硬い筆記用具で文字や絵を描いたり、シールなどを貼らないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。

### 保管上の注意事項

- 高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。
- ディスクは使用後、お買い上げのときにディスクが入っていたケースに入れて保管してください。
- レーベル面が直接触れるような軟質系のケースおよび袋等での保管は避けてください

**警告** CD-ROMはCD-ROMディスク対応機種以外では絶対に再生しないでください。音量によって、耳に障害を被ったり、スピーカーが破損する恐れがあります。

## 本書の見かた

### 本書での説明について

#### ■Windowsの操作説明はしていません

本書は「CW-50」(以後本機と記述します)、「CD-R TITLE PRINTER」アプリケーション(以後本ソフトと記述します)の取扱説明書です。本ソフトは、Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP(以後Windowsと記述します)上で動作するアプリケーションソフトであり、本書では、Windowsそのものの操作については説明していません。

本書は、本ソフトをご使用になるお客様が、すくなくとも以下のようなWindowsの基本操作に習熟されていることを前提として書かれております。

- クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、ドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作
- マウスによるメニュー操作
- キーボードによる文字入力
- Windowsに共通のウィンドウ操作

これらWindowsの基本的な操作に関しては、お手持ちのパソコンまたはWindowsパッケージ付属の取扱説明書をご覧ください。

#### アシスタント機能について

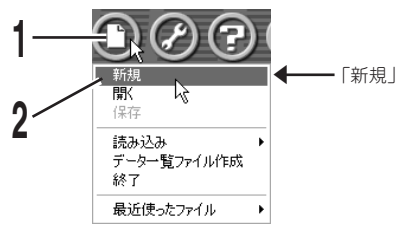
操作のサポートとして、本ソフトにはアシスタント機能がついています。(→33ページ)

#### ヘルプ機能について

操作中に操作方法や注意事項を画面上で確認できるヘルプ機能がついています。(→71ページ)

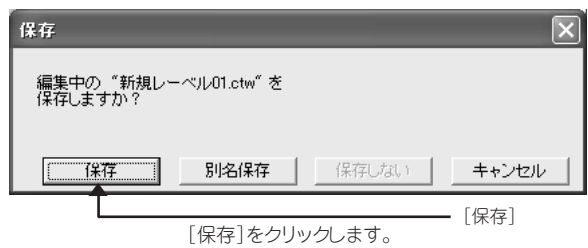
### ■ボタン操作の表記について

本書でのすべての操作は、マウスを使用することを前提としています。  
• コマンドの操作方法は、次のような形で表記しています。



- 1 をクリックします。
- 2 表示されたメニューから「新規」をクリックします。

• ダイアログボックス中のボタンは次のような形で表記します。



【保存】をクリックします。

### ■キー操作の表記について

本ソフトでは、マウスの操作とキーボードでのキー操作を併用することがあります。使用するキーには「Ctrlキー」、「Shiftキー」、「Altキー」があります。本書ではこれらのキーを[Ctrl]キー、[Shift]キー、[Alt]キーとそれぞれ表記します。これらのキーは、AやBといったアルファベットキーと併用される場合もあります。

#### ■マークの意味

- 重要** 操作を進めていくうえで、欠かすことのできない注意事項や制限事項などが掲載されていることを示します。
- 参考** 知っておくと役に立つ情報や、そこで説明されていることは少し違った使いかたなどが紹介されていることを示します。
- 参照** ほかのページでさらに詳しく説明されていることを示します。

- 本書記載の画面はWindows XPを基に説明しています。その他のOSでは本書記載の画面と異なることがあります。
- 紙メディアである性質上、本書中で使用している表示画面は、実際の画面と若干異なる場合があります。

# 本書の構成

本書は目的別に説明が分かれています。やりたいことに合ったページをご覧ください。

## 準備してください

- ・箱の中身の確認 (→6ページ)
- ・ソフトのインストール (→16ページ)



- ・パソコンと本機を接続 (→19ページ)
- ・梱包材の取り外し／インクリボンカセットの取り付け (→21ページ)

## まずはためしに作ってみたい

おためし印刷編 (→25ページ)

★音楽用レーベル形式を例に、レーベル作成から印刷・保存までの流れを一通り体験してみてください。

## 手軽にレーベルを作りたい

らくらく作成編 (→31ページ)

★定型フォーマットを使って、簡単にレーベルを作る方法について説明しています。

- 音楽用・データ用・デジタルカメラ用からフォーマットを選べます。

## もっと自由にレーベルを作りたい

こだわり作成編 (→54ページ)

★文字やレイアウトの設定を自由に決めて、思い通りのレーベルを作る方法について説明しています。

- 文字を自由に入力・設定 →フリーテキスト形式
- 文字や画像を組み合わせる自由レイアウト →フリーデザイン形式

## レーベルができたなら印刷しましょう

印刷・その他編 (→66ページ)

- ★画面の指示に従って、CD-Rをセットするだけ!
- ★その他、詳しい設定内容について説明しています。

※困ったときには・・・付録 (→73ページ)

操作中に分からないことが出てきたら、こちらをご覧ください。ヘルプ機能やエラーメッセージの説明があります。



本書では「レーベル」とは、以下の意味で使用しています。  
・CD-Rメディアに印刷する文字や画像の総称

# こんなことができます

CD-RやCD-RWなどのディスクのレーベル面に、文字や画像を直接印刷することができます。

## ●音楽データを記録するディスクには...

自分で入力したアーティスト名や曲名、タイトル名などを印刷できます。(→31ページ)

またWindows Media™ PlayerやEasy CD Creatorで取得した曲名情報や、CD-Textからの文字データを読み込むことができるので、入力の手間が省けます。(→36ページ)

※本書に記載の画面は、Media Player for Windows XPを基にしています。



## ツユノラムコウ

春日千夏子

1. 恋するアルマジロ
2. ソニーイコト
3. お祭ます
4. 八月のバンドワイルド
5. hitler
6. 人権目の歌術鑑
7. アップルジュース
8. わたしたちの大切な日
9. 思い通りにならない
10. 天国はそこにある

## JAPONISME

Lili Page

1. zozzy track syndrome
2. dolphin attack
3. Blue smile
4. tell me please

**ご注意**

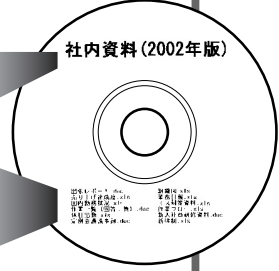
本機(本ソフトも含む)は、CD-RやCD-RWなどのディスクにデータを記録する商品ではありません。

**●パソコンのデータを記録するディスクには...**

ディスクに記録するフォルダ名やファイル名などを、パソコンから読み込んで印刷できます。また自分で手入力することもできます。(→31、40ページ)

**社内資料(2002年版)**

出張レポート.doc	組織図.xls
売り上げ達成度.xls	業務日報.xls
国内勤務状況.xls	ミス対策資料.xls
作業一覧(回答:管).doc	作業フロー.xls
休日出勤.xls	新入社員研修資料.doc
定例会議事録.doc	新体制.xls

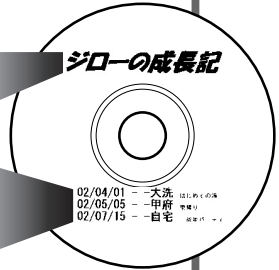


**●デジタルカメラの撮影データを記録するディスクには...**

撮影した日付や内容などを、パソコンから読み込んで印刷できます。また自分で手入力することもできます。(→31、40ページ)

**ジローの成長記**

02/04/01	--大洗	はじめての海
02/05/05	--甲府	里帰り
02/07/15	--自宅	一周年パーティー

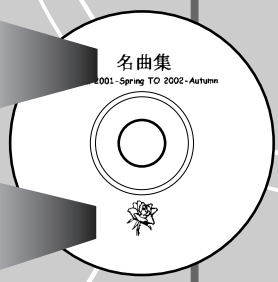
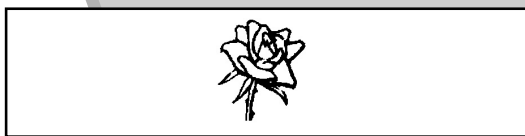


**こんなことができます**

★パソコンに搭載されているフォント(書体)で印刷できます。(→48ページ)

**名曲集**  
From 2001-Spring TO 2002-Autumn

★文字のほかに、画像も印刷することができます。(→50ページ)  
※画像はモノクロで印刷されます。



★本ソフトに搭載されているレイアウトを組み合わせることでバリエーションのある印刷ができます。



★ワープロ感覚で文字を編集・修飾できます  
(フリーテキスト→54ページ)



★文字や画像を組み合わせて自由にデザインしたオリジナルレーベルを印刷できます。  
(フリーデザイン→54ページ)

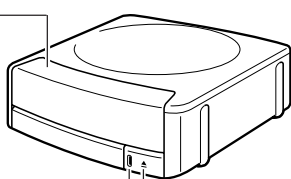


## 各部の名前とはたらき

前面

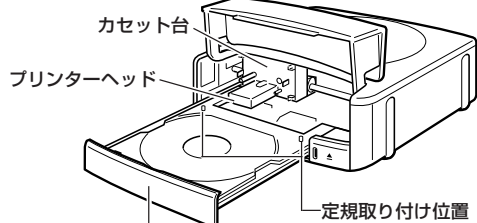
準備  
各部の名前とはたらき

**フロントカバー**  
インクリボンカセットをセットしたり取り出すときに開きます。



**LEDランプ**  
・パソコンと正常に接続されているときに点灯します。  
・印刷時には点滅します。

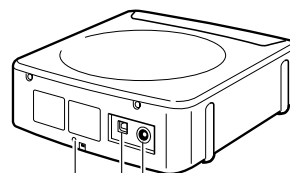
**取り出しボタン**  
ディスクトレイを開けるときに押します。



ディスクトレイ

**定規取り付け位置**  
ディスクをセットするときに位置合わせ用定規を取り付けるところです。

後面



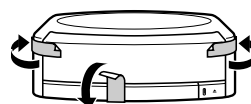
本機が故障しディスクトレイが開かなくなった場合に、先の細い棒のようなものをこの穴に差し込むとディスクトレイを強制的に開けることができます。(長さ20mm以上、太さ1.5mm以内のものをお使いください。)  
通常動作時は絶対に使用しないでください。  
※つまようじなど先端の折れやすいものを使わないでください。故障の原因となります。

**ACアダプター用端子**  
付属のACアダプターを接続します。

**USBコネクター**  
付属のUSBケーブルを使ってパソコンに接続します。

### はじめてお使いになるときは

本機を保護するために、前面部は「テープ」で固定されています。「テープ」をはがしてからお使いください。





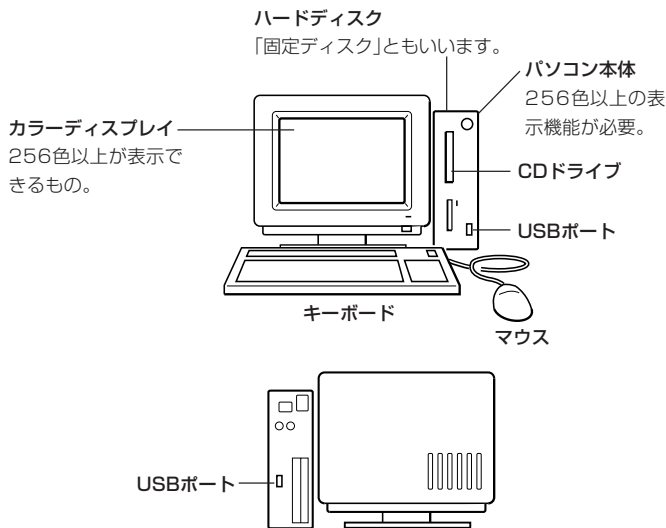
# 本ソフトを使うには

本ソフトを使用できるパソコンの仕様と動作環境を説明します。

## パソコンの仕様と動作環境

### ■パソコン

下記の条件を満たすパソコン一式が必要です。お持ちのパソコンが下記の条件を満たしているかどうかをご確認ください。



上記のイラストは特定のモデルのものではありません。また、機種により接続ポートの位置は異なります。

### ■動作環境

OS	Microsoft® Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP日本語版
パソコン	下記の条件を満たす「IBM PC/AT互換機」 <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XPブリンストールモデル</li> <li>CPUがPentium® II 266MHz以上およびお使いのOSが推奨するCPU</li> <li>USBポート</li> </ul>
メモリ	64MB以上(128MB以上を推奨)
ハードディスク	本ソフト用に、インストール時は40MB以上、また起動時は60MB以上の空きが必要
ディスプレイ	パソコン本体に接続可能でWindows 98/98SE/Me/2000 Professional/XPに対応しているカラーディスプレイ(256色以上、ハイカラーを推奨) 解像度800×600ドット以上
ポインティングデバイス	Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XPで使用可能なマウス、または準ずるもの
キーボード	
CDドライブ	
日本語環境	Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XPに準ずる(本ソフトには、日本語変換システムは付属していません)

- ※ その他、Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XPが推奨する環境に準拠します。
- ※ 機器の構成によっては、正常に動作しない場合があります。
- ※ Windows 3.1/95/NT®上、またMacintosh®/Mac® OS上では動作しません。
- ※ 他のOSからアップグレードされたWindows 98/98SE/Me/2000 Professional/XPでの動作は保証しません。

準備  
本ソフトを使うには

# ソフトをインストールする

ここでは、「インストールのしかた」「ソフトの削除のしかた」を説明します。

## インストールする

最初に、本ソフトをパソコンにインストールします。

**重要** インストールは、必ず本機とパソコンを接続する前に行ってください。(→19ページ)接続後にインストールすると、正常に動作しないことがあります。

**参考** 「インストール」とは、お使いのパソコンに「CD-R TITLE PRINTER」アプリケーションCD-ROMの中のプログラムをコピーして、パソコンで利用できるようにすることです。

**重要** インストールを開始する前に、現在動作している他のすべてのプログラムを終了させてください。終了させないと、正しくインストールされないことがあります。

本書では、CDドライブをGドライブとして説明をすすめます。

**1** Windowsを起動してから、「CD-R TITLE PRINTER」アプリケーションCD-ROMをパソコンのCDドライブにセットします。  
自動的に以下のような画面が表示されます。



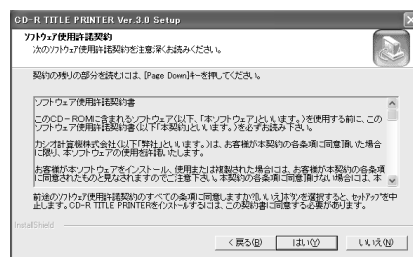
**参考** お使いのパソコンの動作環境によっては、手順1の画面が表示されない場合があります。この場合は、[スタート]ボタンをクリックして「ファイル名を指定して実行(R)...」を選択し、表示されるエディットボックスに「G:¥SETUP.EXE」と入力して[OK]をクリックします。

**2** [次へ(N) >]をクリックします。  
「製品使用許諾契約」が表示されます。



**重要** 「製品使用許諾契約」は、必ずお読みください。

**3** 内容を確認後、[はい(Y)]をクリックします。  
「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されます。



**重要** ソフトウェア使用許諾契約は必ずお読みください。

準備  
ソフトをインストールする

#### 4 内容を確認後、[はい(Y)]をクリックします。



#### 5 インストール先を確認し、[次へ(N)]をクリックします。

**参考** インストール先を変更するときは、[参照(R)...]をクリックして設定します。

- インストールが始まります。
- インストールが終了すると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。
- 「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されない場合もありますが、デスクトップに「CD-R TITLE PRINTER」のショートカットアイコンが表示されていればインストールは正常に終了しています。



#### 6 [完了]をクリックします。

本ソフトのインストールが終了します。デスクトップに「CD-R TITLE PRINTER」のショートカットアイコンが表示されます。

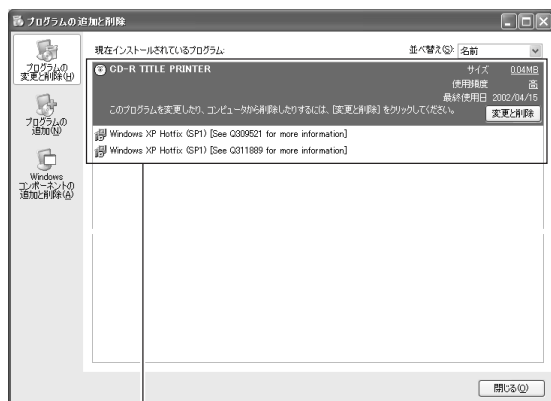


### ソフトを削除する

本ソフトをパソコンから削除したいときは、次のように操作します。

#### 1 Windowsの[スタート]ボタンから、「コントロール パネル(C)」をクリックします。

#### 2 「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックします。「プログラムの追加と削除」ダイアログが表示されます。



インストールされているソフト一覧

#### 3 「現在インストールされているプログラム」一覧から「CD-R TITLE PRINTER」をクリックします。

#### 4 [変更と削除]をクリックします。



**参考** 他のアプリケーションのインストール状況によっては削除する/しないを選択する画面が表示されます。削除してもよいかどうか不明なときは、[いいえ(N)]をクリックします。

#### 5 [完了]をクリックします。

ソフトが削除されます。

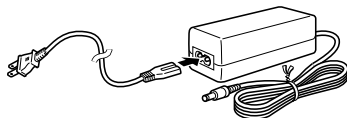
# 電源について/パソコンと接続する

本機を使うときは付属の電源コードとACアダプターを接続し、USBケーブルでパソコンと接続します。

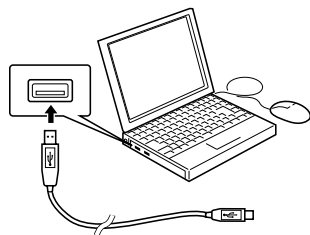
**重要** 以下の操作は、必ずソフトをパソコンにインストールしたあとに行ってください。(→16ページ)

## 取り付ける

1 ACアダプターに電源コードを接続します。

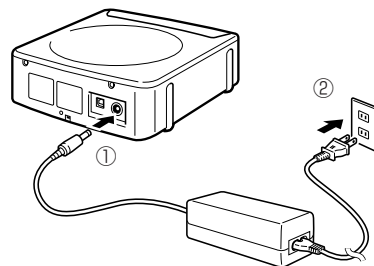


2 パソコンのUSBポートに、USBケーブルを接続します。



**重要** 必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。パソコン本体以外のUSBポートでは正常に動作しない場合があります。

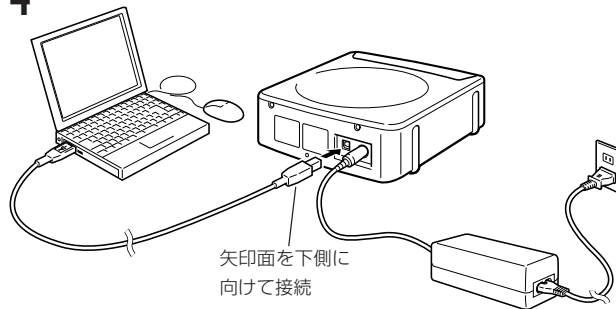
3 ACアダプターのプラグを本機のACアダプター用端子に(①)、電源コードのプラグをご家庭のコンセントに(②)、それぞれ差し込みます。



**重要**

- はじめてお使いになるときはUSBコネクタを覆っているシールをはがしてから接続してください。
- 電源コードは必ずAC100Vのコンセント(通常の家庭用コンセント)に差し込んでください。
- 付属の電源コード、ACアダプター以外は使用しないでください。

4 本機のUSBコネクタにUSBケーブルを接続します。



**重要**

- 本機を立てた状態で使用することはできません。また、本機を使わないときも立てた状態で保管しないでください。
- ACアダプターとUSBケーブル両方ともに接続されていないと、ディスクをセットしたり、取り出したりすることはできません。

準備

電源について/パソコンと接続する

準備

電源について/パソコンと接続する

本ソフトをインストールした後、はじめてパソコンと本機を接続すると、USBドライバをインストールするウィザードが表示されます。画面の指示にしたがって、インストールしてください。

● Windows XPをご使用の場合には、途中で以下の警告メッセージが表示されます。[続行(C)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。



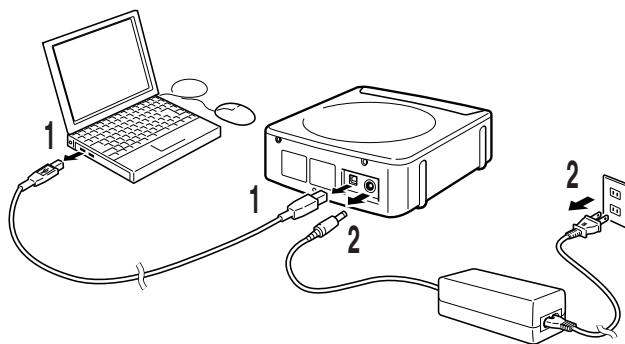
● Windows 2000をお使いの場合には、上の画面と同様に「デジタル署名が見つかりませんでした」という警告メッセージが表示される場合があります。この場合は、[はい(Y)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。

● Windows 98/98SE/Meをお使いの場合には、警告メッセージは表示されません。そのまま本機をお使いになれます。

## 取り外す

1 USBケーブルをパソコンのUSBポートと本機から抜きます。


2 電源コードのプラグをコンセントから、ACアダプターのプラグを本機のACアダプター用端子からそれぞれ抜きます。



**重要** 印刷中にACアダプター、電源コード、USBケーブルを取り外さないでください。故障の原因となります。

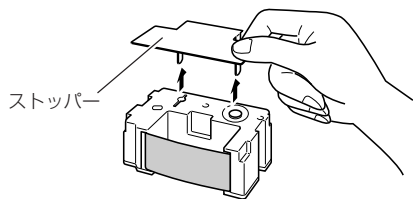
## インクリボンカセットの取り付けかた/取り外しかた

印刷するときには、インクリボンカセットが必要です。  
専用のインクリボンカセットをお使いください。(箱の中身を確認してください→6ページ、別売品一覧→76ページ)

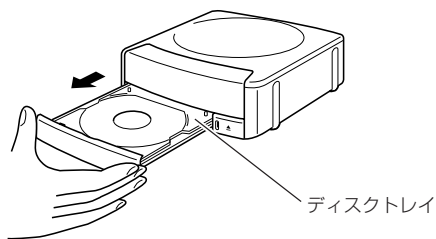
- 重要**  ・電源コード/ACアダプターとUSBケーブル両方ともに接続されていないと、ディスプレイは開かないので、インクリボンカセットはセットできません。(パソコンと接続する→19ページ)
- ・本機を保護するため、カセット台は梱包材で固定されています。はじめてお使いになるときは22ページをご覧ください、梱包材を取り外してください。



### インクリボンカセットを取り付ける

#### 1 インクリボンカセットからストッパーをはずします。

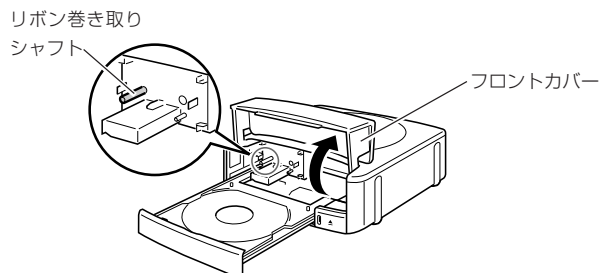



#### 4 ディスクトレイをゆっくりと引き出します。 ディスクトレイは図の位置まで引き出してください。



- 重要**  ・ディスクトレイは無理に引き出さないでください。
-  ・ディスクトレイに無理な力を加えないでください。損傷の恐れがあります。
- ・ディスクトレイを誤って本体から外してしまった場合は、トレイの先端をレールに合わせて再セットしてください。

#### 5 フロントカバーを開きます。

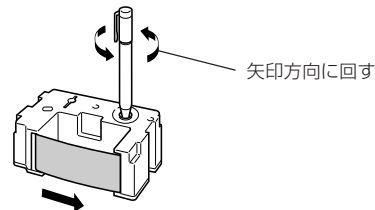



- 重要**  リボン巻き取りシャフト部に力を加えないように、注意してください。シャフトが曲がる可能性があります。

#### 2 ペンなど\*を、インクリボンカセットの穴に置いて、リボンが張るまでたるみをゆっくと巻き取ります。

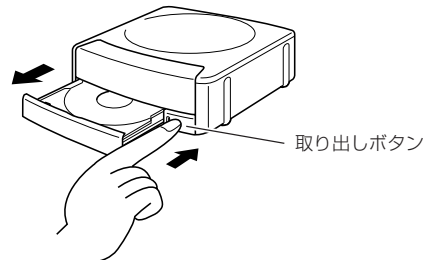
\*すべりにくい素材のものをお使いください。

リボンのたるみの状態によっては巻き取るまで何回か回す必要があります。





- 重要**  たるんだ状態でインクリボンカセットを取り付けると、故障の原因となります。

#### 3 本体前面の取り出しボタンを押します。



ディスクトレイが少し飛び出します。

- 重要**  ディスクトレイの前に物を置かないでください。

**参考**  本ソフトを起動しているときは、メイン画面の  (→34ページ) をクリックしても、ディスクトレイが開きます。

準備

インクリボンカセットの取り付けかた/取り外しかた


21

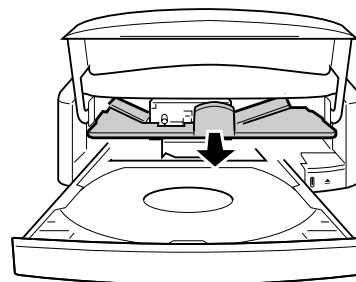
準備

インクリボンカセットの取り付けかた/取り外しかた


#### ■ はじめてお使いのときは


カセット台を固定している梱包材を、図のように取り外してください。

- 重要**  梱包材は、16ページから22ページの操作を行った後、取り外してください。

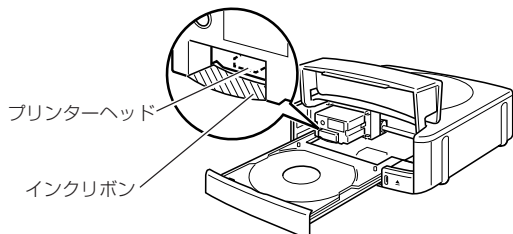


つまみを持ち、矢印の方向にゆっくりと引き出す

- 重要**  梱包材がセットされた状態では、次のことは絶対にしないでください。故障の原因となります。

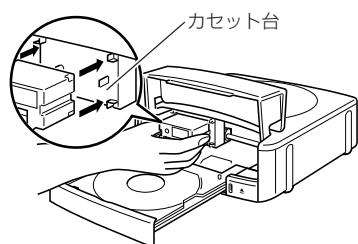
- ・本体前面の取り出しボタンを何度も押す
- ・メイン画面の  を何度もクリックする
- ・印刷の操作を行う

## 6 インクリボンをプリンターヘッドの下にくぐらせます。

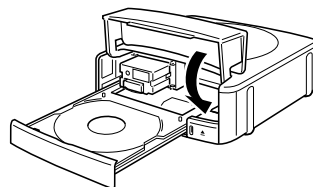


- 参考**
- ・インクリボンがたるまないよう、注意してください。
  - ・インクリボンがたるんだときは手順 2を参考に、たるみを取ってください。

## 7 インクリボンカセットをカチッと音がするまで、カセット台に ていねいに押しつけます。



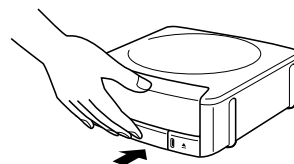
## 8 フロントカバーを閉めます。



- 重要** ディスクトレイを閉める前に、必ずフロントカバーを閉めてください。

## 9 ディスクトレイを閉めます。

ディスクトレイはカチッと音がするまで押し込んでください。



- 重要** ディスクトレイが開いた状態で、取り出しボタンを押すと内部で動作音がしますが、故障ではありません。

- 参考** CD-Rメディアの色により、インクリボンの色と異なった色彩で印刷されることがありますのでご注意ください。

### ■ フロントカバーが外れてしまったら・・・

フロントカバーを誤って取り外してしまった場合は、下記の手順にしたがって、再セットしてください。

#### 1 本機と電源コード、ACアダプター、USBケーブル、パソコンを接続します。

**参照** 接続方法について詳しくは19ページをご覧ください。

#### 2 本体前面の取り出しボタンを押します。

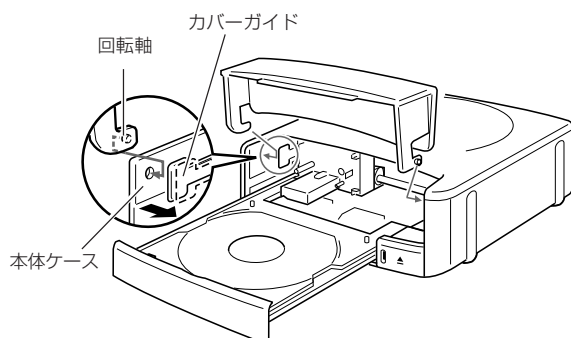
ディスクトレイが少し飛び出します。

#### 3 ディスクトレイをゆっくりと引き出します。

**参照** 手順 2～3の操作について詳しくは21,22ページをご覧ください。

#### 4 カバーガイドを内側にたわませながら、フロントカバーの回転軸を本体ケースとカバーガイドの間に挿入します。

#### 5 回転軸が本体ケースの穴に入るようにセットしてください。 左右一方向ずつセットしてください。



### インクリボンカセットを交換する

#### 1 本体前面の取り出しボタンを押します。

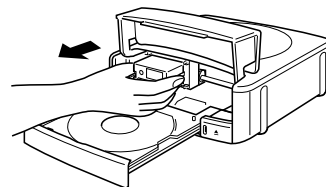
ディスクトレイが少し飛び出します。

**重要** ディスクトレイの前に物を置かないでください。

#### 2 ディスクトレイをゆっくりと引き出します。

#### 3 フロントカバーを開きます。

#### 4 カセット台を動かさないように注意し、インクリボンカセットの両側を指ではさんで、手前に引き出します。



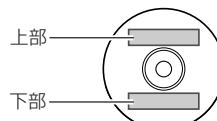
#### 5 別のインクリボンカセットを取り付けます。

#### 使用中のインクリボンカセットを保管するときは

使用中のインクリボンカセットを保管するときは、ストッパーを取り付け、ビニール袋に入れたあと箱にしまい、ごみ・ほこりのつきにくい場所に保管してください。

#### 1本のインクリボンカセットで印刷できる枚数

- ・上部または下部のみ…約40枚
- ・上部・下部両方…約20枚



# まずは作ってみましょう

準備ができたなら、ためにしにレーベルを作ってみましょう。  
ここでは、レーベルの作成から印刷・保存までの流れを一通り体験してみてください。

例：音楽用レーベルを作る



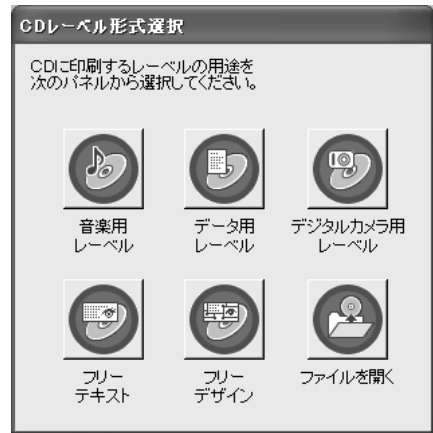
## レーベルを作成する

- 1 デスクトップ上の「CD-R TITLE PRINTER」ショートカットアイコンをダブルクリックします。



**参考** Windowsの[スタート]ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「CD-R TITLE PRINTER」→「CD-R TITLE PRINTER」とクリックして起動することもできます。(インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。)

本ソフトが起動して、「CDレーベル形式選択」ダイアログが表示されます。



おためし印刷  
まずは作ってみましょう

- 2 をクリックします。

音楽用レーベルのメイン画面が表示されます。

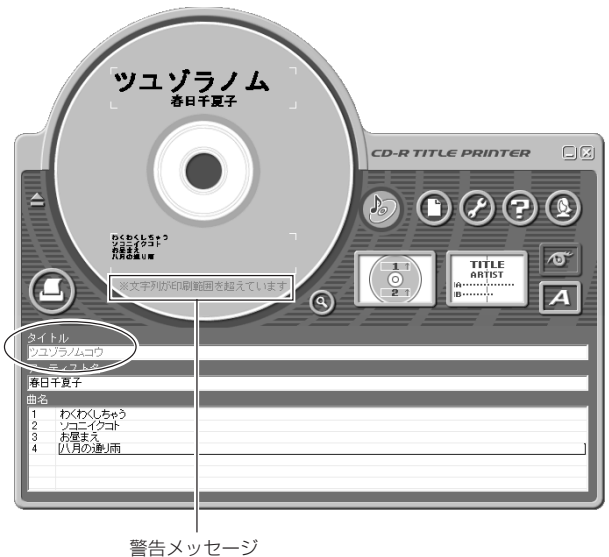


「レーベル入力ボックス」

**重要** レーベル形式を選択するまで、メイン画面での操作はできません。

- 3 文字データを入力します。

「レーベル入力ボックス」にカーソルを移動し、タイトル・アーティスト名・曲名をそれぞれ入力してください。  
入力した結果が「レーベルプレビュー」画面に表示されます。



警告メッセージ

**重要** 入力した文字データが印刷エリアに入りきらない場合、「※文字列が印刷範囲を超えています」という警告メッセージが表示され、その部分が赤字で表示されます。  
「書式レイアウトを設定する」(→47ページ)や「フォントの種類、形、大きさを設定する」(→48ページ)をご覧ください。

おためし印刷  
まずは作ってみましょう

■レイアウトを設定する

4 をクリックします。

選択メニューが表示されます。



**参照** 印刷パターンの設定に関する詳細は→45ページ

5 をクリックします。



6 をクリックします。

選択メニューが表示されます。



**参照** 書式レイアウトの設定に関する詳細は→47ページ

7 をクリックします。



■フォントを選ぶ

8 をクリックします。

「フォント設定」ダイアログが表示されます。



9 「タイトル」タブが選択されていることを確認します。選択されていないときは、「タイトル」タブをクリックします。

10 「フォントサイズ」で「2」を選びます。



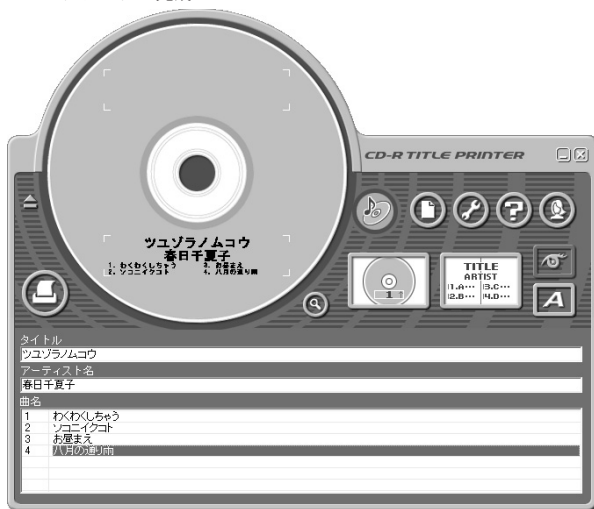
11 「アーティスト名」タブをクリックします。



12 「フォントサイズ」が「2」であることを確認し、[OK]をクリックします。

**参照** フォントの設定に関する詳細は→48ページ

レーベルデータが完成しました。



## 印刷する

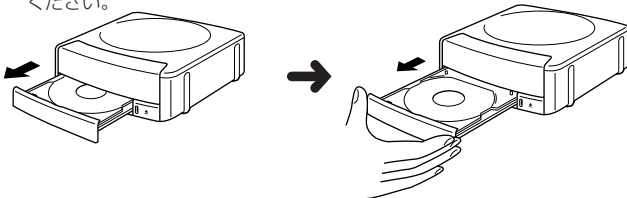
付属のCD-Rに印刷してみましょう。

- 重要** 市販のCD-Rメディアに印刷する場合は、付属の「推奨メディア一覧」をご参照ください。
- 本機が破損する原因となるため、シングルCD-Rや名刺サイズのCD-Rには印刷できません。
- 印刷できるのは、直径12cmのディスクだけです。

**重要** 本製品を使用したCD-Rメディアへの印刷は、CD-Rメディアにデータを記録する前に行われることをお勧めします。すでにデータが記録されているCD-Rメディアに印刷した場合、データ破損の補償は致しません。

### 1 をクリックします。

- ディスクトレイが少し飛び出します。図の位置までゆっくりと引き出してください。

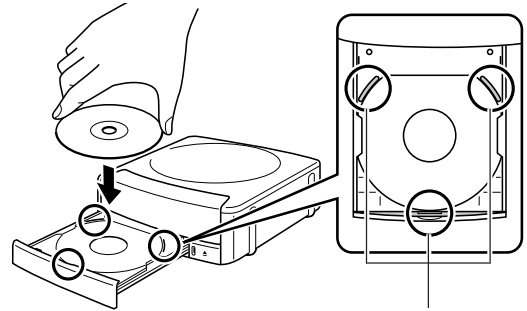


**重要** ディスクトレイの前に物を置かないでください。

- 画面に印刷ダイアログが表示されます。



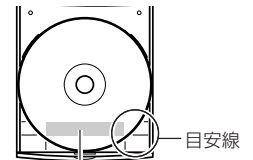
### 2 画面の指示にしたがい、ディスクをセットします。



ディスクが突起部に乗りに乗らないようにセットしてください。

ディスクをセットするときは、印刷レイアウトと印刷方向を十分確認してください。

- 重要**
- ディスクトレイやディスクに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、記録面に傷がついてデータの書き込みができなくなることがあります。
  - 記録面を下に(文字を印刷する面を上)にしてセットしてください。表裏を逆にセットすると、記録面に印刷され、データの書き込みができなくなります。
  - ディスクトレイ上の目安線に囲まれた部分(手前側)に印刷されます。ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合は、その部分を避けてセットしてください。



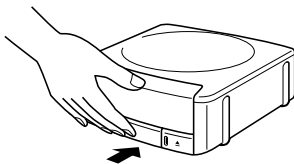
ここに印刷されます

**参照** ディスクのセットのしかたに関する詳細は→68ページ

おためし印刷  
まずは作ってみましょう

### 3 ディスクトレイを閉めます。

ディスクトレイはカチッと音がするまで押し込んでください。



### 4 [印刷開始]をクリックします。

- 印刷が開始されます。
- 印刷終了後、ディスクトレイが自動的に開きます。ディスクトレイをゆっくりと引き出して、ディスクを取り出してください。

**重要** 印刷中にACアダプター、電源コード、USBケーブルを取り外さないでください。故障の原因となります。

これで印刷完了です。

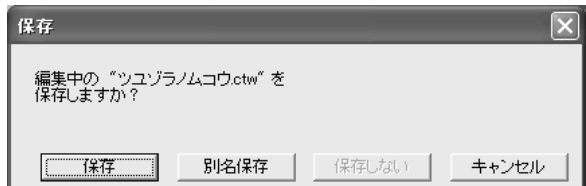
**参照** 印刷に関する詳細は→66ページ

## データを保存する

### 1 をクリックします。

### 2 表示されたメニューから「保存」をクリックします。

「保存」ダイアログが表示されます。



### 3 ファイル名を確認し、[保存]をクリックします。

「マイドキュメント」に保存されます。


**参照** データの保存に関する詳細は→43ページ

## ソフトを終了する

### 1 をクリックします。

### 2 表示されたメニューから「終了」をクリックします。

本ソフトが終了します。

**参考** 各メイン画面右上のをクリックしても終了できます。

**重要** 印刷中に本ソフトを終了することはできません。印刷終了後、上記の操作を行ってください。


おためし印刷  
まずは作ってみましょう



# レーベル形式を選ぶ

CD-Rの内容に合わせて、レーベル形式を選択できます。

※ らくらく作成編では、特に注記のない場合は音楽用レーベルの作りかたを例として説明しています。

1  をクリックします。


2 表示されたメニューから「新規」をクリックします。  
「CDレーベル形式選択」ダイアログが表示されます。

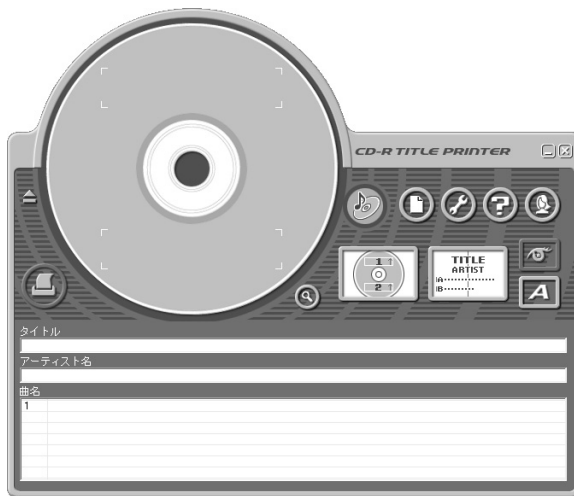



内蔵のレイアウト(定型フォーマット)から簡単にレーベルを作りたいとき

オリジナルレーベルを作りたいとき  
→「こだわり作成編」54ページ


3 作りたいレーベル形式をクリックします。  
 ・用途に応じて5つの形式から選べます。形式ごとに専用のレーベルを作成するための画面(以下メイン画面といいます)が表示されます。  
 ・直接テキストを入力できます。

 音楽用レーベル



 データ用レーベル



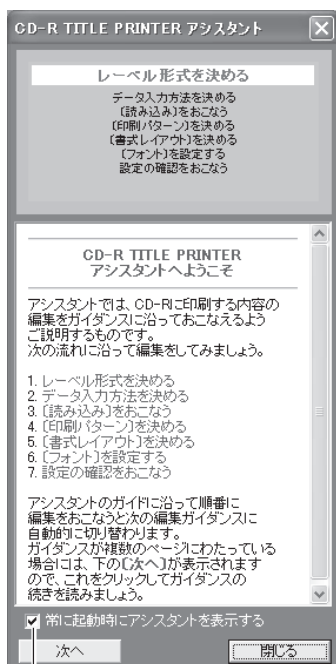
 デジタルカメラ用レーベル



オリジナルレーベルを作りたいときは  
フリーテキスト形式、フリーデザイン形式を選びます。詳しくは「こだわり作成編」(→54ページ)をご覧ください。

# アシスタント機能について

本ソフトにはアシスタント機能が付いています。音楽用・データ用・デジタルカメラ用レーベル形式でのみ表示されます。フリーテキスト・フリーデザイン形式では表示されません。



チェックが入っているときは、本ソフトを起動することによりアシスタント画面が表示されません。

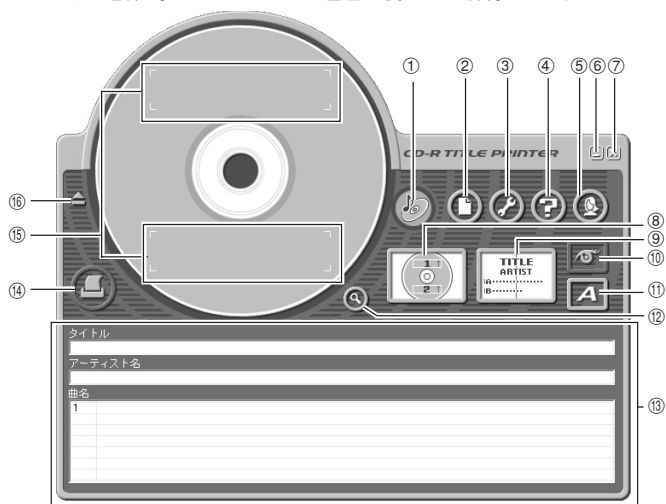
## アシスタント画面の使いかた

- 本ソフトの使いかたがよく分からない方には・・・  
アシスタント画面のガイダンスにしたがって作業していくと、レーベルを簡単に作ることができます。
- ちょっと慣れた方には・・・  
メイン画面での操作に合わせてアシスタント画面が表示されるため、作業に困ったときのサポートとしてご覧になれます。

# メイン画面について

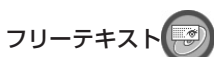
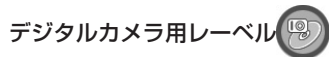
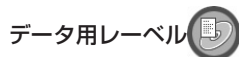
メイン画面に表示されるアイコンや項目と、その機能について説明します。

ここでは、音楽用レーベルのメイン画面を例にして説明します。



### ① レーベル形式表示

「CDレーベル形式選択」ダイアログ(→31ページ)で選択したパネルが点灯表示されます。



### ② 『ファイル』ボタン

- 『ファイル』ボタンをクリックすると、次の項目が表示されます。  
「新規」：新しくレーベルを作成します。「CDレーベル形式選択」ダイアログ(→31ページ)が表示されます。  
「開く」：以前に作成したレーベルデータを読み出します。  
「保存」：作成したレーベルデータを保存します。  
「読み込み」：CD-Text・Media Player・Easy CD Creatorのファイル(音楽用レーベル)、ファイル名・フォルダ名(データ用・デジタルカメラ用レーベル)を読み込みます。  
「データ一覧ファイル作成」：レーベルに印刷しきれない大量の印刷データ情報を、一般のプリンタで印刷するためにファイル名一覧を作成します。(→44ページ)  
「終了」：本ソフトを終了します。  
「最近使ったファイル」：過去5件までファイルの名称を表示します。ファイル名をクリックすると、レーベルデータを読み出すことができます。(ただし、表示されるものは保存されたファイルに限ります。)

### ③ 『詳細設定』ボタン

本ソフトでレーベル作成・印刷するとき、さらに詳しい設定ができます。(→69ページ)

### ④ 『ヘルプ』ボタン

- 『ヘルプ』ボタンをクリックすると、次の項目が表示されます。  
「ヘルプ」：ヘルプが表示されます。  
「カシオホームページ」：カシオホームページの“EZ-USBシリーズ”のページが表示されます。  
「バージョン情報」：本ソフトのバージョン情報が表示されます。

### ⑤ 『アシスタント』ボタン

メイン画面とともにアシスタント画面が表示されます。(→33ページ)  
※音楽用・データ用・デジタルカメラ用レーベルを作成しているときだけ表示されます。

### ⑥ 『最小化』ボタン

メイン画面をメニューバーに入れます。

### ⑦ 『閉じる』ボタン

本ソフトを終了します。

### ⑧ 『印刷パターン』パネル

現在選択されているレーベルの印刷位置や方向のパターンを示します。また変更するときにクリックします。

### ⑨ 『書式レイアウト』パネル

現在選択されている文字のレイアウトを示します。また変更するときにクリックします。


### ⑩ 『画像』ボタン

印刷する画像を指定するとき(→50ページ)にクリックします。

### ⑪ 『フォント』ボタン

文字の種類や形、大きさを設定します。

### ⑫ 『ルーペ』ボタン

クリックすると「プレビュー拡大」ダイアログを表示します。「プレビュー拡大」ダイアログの[印刷]から印刷することもできます。元に戻すときは、[閉じる]または  をクリックします。

### ⑬ 『レーベル入力ボックス』

「読み込み」または手入力で直接テキストを入力するウインドウです。入力された結果はすぐに「レーベルプレビュー」画面に表示されます。選択したレーベル形式によって表示が変わります。

### ⑭ 『印刷』ボタン


印刷を開始するときにクリックします。

### ⑮ 『レーベルプレビュー』画面

印刷前に仕上がりのバランスを確認する画面です。


### ⑯ 『取り出し』ボタン

ディスクトレイを開きます。本体前面の取り出しボタン(→14ページ)と同じ動作をします。

**重要**  印刷中は「取り出し」ボタンを選択することはできません。


## 文字データを読み込んでレーベルを作る


音楽用レーベルでは、CD-Textの文字データやMedia Player、Easy CD Creatorで作成した曲名などのデータを本ソフトに読み込むことができます。またデータ用レーベルとデジタルカメラ用レーベルでは、ファイル名やフォルダ名を読み込むことができます。文字データを自動的に読み込むことができるので入力の手間がはぶけます。

- 重要**  ・ご使用のCDドライブがCD-Text読み込みに対応していないと、CD-Textを読み込むことはできません。  
・フリーテキスト・フリーデザイン形式ではすべての「読み込み」メニューが選べます。(→57ページ)

### CD-Textの文字データを読み込む(音楽用レーベル)

CD-Textの文字データが書き込まれているディスクを準備してください。


**参考**  CD-Textについて  
CD-Textは、タイトル、アーティスト名や曲名などの文字情報を追加した音楽CDの機能です。本ソフトでは、CD-Textの文字情報を読み込み、音楽用レーベルを作ることができます。ただし、CDによってはCD-Textの文字情報が入っていないものもあります。

- 1 音楽用レーベルのメイン画面で、 をクリックします。
- 2 表示されたメニューから「読み込み」→「CD-Textを読み込む」とクリックします。  
「CD-Text読込」ダイアログが表示されます。



- 3 ディスクをパソコンのCDドライブにセットし、「ドライブ指定」でドライブ名を確認した後、「読込開始」をクリックします。  
読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。



- ・言語：複数の言語が記録されているディスクを読み込んだ場合に、表示されます。(言語1～言語8まで)  
記録されている言語が1つの場合は、グレー表示になります。  
**重要**  表示される言語は、日本語、英語、韓国語、中国語です。ただし、お使いのWindowsの環境が、韓国語および中国語に対応していない場合は、正しく表示されないことがあります。
- ・タイトル：記録されているCD-Textの「タイトル」が表示されます。
- ・アーティスト名：記録されているCD-Textの「アーティスト名」が表示されます。
- ・曲名：記録されているCD-Textの「曲名」とチェックボックスが表示されます。
- ・全曲選択：すべての曲名をチェックします。
- ・全曲解除：すべての曲名のチェックを外します。
- ・「レーベル入力ボックス」に読み込みをしない曲名があるときは、その曲名のチェックボックスをクリックして、チェックをはずします。

**4** 『レーベル入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。

『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にCD-Textの文字データが表示されます。

**重要** ディスクの種類によっては、CD-Textの文字データを正確に読みとれない場合があります。

**Media Playerを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用レーベル)**



**Media Playerについて**

Media Playerは、コンピュータ上およびインターネット上のマルチメディアを再生および整理するためのソフトウェアです。本ソフトではMedia Playerで作成した曲名リストを読み込みことができます。対応しているバージョンは7.0以上です。

※本書に記載の画面は、Media Player for Windows XPを基にしています。



Windows XP以外のOSをお使いの場合は表示される画面や操作方法が若干異なります。

**1** Media Playerを起動します。



**2** 曲名情報を入手したいディスクをパソコンのCDドライブにセットします。

**3** Media Playerで曲名リストを取得し、音楽のコピーをした後、再生リストをファイルに書き出します。

※Media Player 7.0の場合は、音楽のコピーは必要ありません。



Media Playerの詳細な操作についてはMedia Playerのヘルプをご覧ください。

**4** 本ソフトを起動します。

**5** 音楽用レーベルのメイン画面で、 をクリックします。

**6** 表示されたメニューから「読み込み」→「Media Playerの曲名データを読み込む」とクリックします。  
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。



**7** 手順6で作成した曲名リストを選び、[開く(O)]をクリックします。

読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。



• Windows XP上で動作しているMedia Playerから作成した再生リストファイルの読み込みを行ったときは、アーティスト名が読み込めない場合があります。

**8** 『レーベル入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。

読み込みが完了すると『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にデータが表示されます。

## Easy CD Creatorを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用レーベル)



### Easy CD Creatorについて

Easy CD CreatorはCD-R/CD-RWライティングソフトです。本ソフトではEasy CD Creatorで作成した「Easy CD Creatorの保存形式のプロジェクトリスト(以下、曲名リストと記述します)」を読み込み、音楽用レーベルを作ることができます。対応しているバージョンは4.0と5.0です。

※本書に記載の画面は、Easy CD Creator ver.5.0を基にしています。



- 開くことのできるファイルは「音楽CD」で作成したプロジェクトリストのみです。
- パソコンのハードディスクからトラックにオーディオファイルを追加して作成したプロジェクトファイルは、読み込むことができません。

## 1 Easy CD Creatorを起動します。

## 2 曲名情報を入力したいディスクをパソコンのCDドライブにセットします。

## 3 Easy CD Creatorで曲名リストを取得し、保存します。



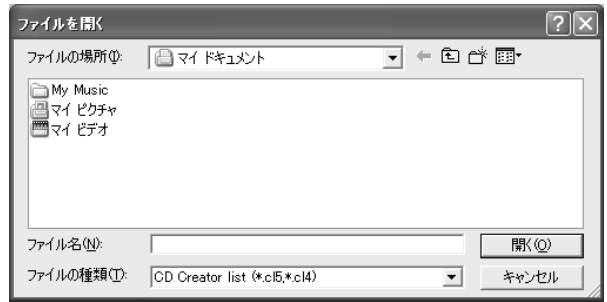
Easy CD Creatorの詳細な操作についてはEasy CD Creatorの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

## 4 本ソフトを起動します。

## 5 音楽用レーベルのメイン画面で、をクリックします。

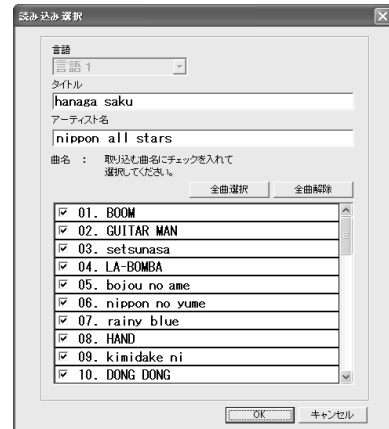
## 6 表示されたメニューから「読み込み」→「Easy CD Creatorのファイルを読み込む」とクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。



## 7 手順3で作成した曲名リストを選び、[開く(O)]をクリックします。

読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。



## 8 『レーベル入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。

読み込みが完了すると『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にデータが表示されます。

## ファイル名やフォルダ名を読み込む(データ用レーベル、デジタルカメラ用レーベル)

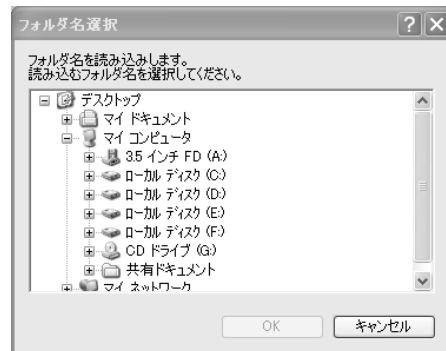
データ用レーベルやデジタルカメラ用レーベルでは、ファイル名やフォルダ名を読み込むことができます。

### ■フォルダ名を読み込む

## 1 データ用レーベルまたはデジタルカメラ用レーベルのメイン画面で、『レーベル入力ボックス』上の読み込みたい位置にカーソルを置き、をクリックします。

## 2 表示されたメニューから「読み込み」→「フォルダ名を読み込む」とクリックします。


「フォルダ名選択」ダイアログが表示されます。



## 3 読み込みたいフォルダ名を選び、[OK]をクリックします。

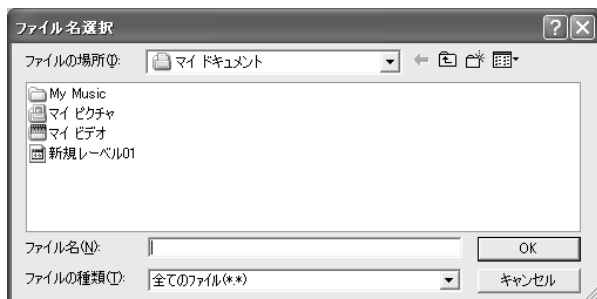
読み込みが成功すると、『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にフォルダ名が表示されます。

## ■ファイル名を読み込む

1 データ用レーベルまたはデジタルカメラ用レーベルのメイン画面で、『レーベル入力ボックス』上の読み込みたい位置にカーソルを置き、をクリックします。

2 表示されたメニューから「読み込み」→「ファイル名を読み込む」とクリックします。

「ファイル名選択」ダイアログが表示されます。



3 読み込みたいファイル名を選び、[OK]をクリックします。

読み込みが成功すると、『レーベル入力ボックス』と『レーベルプレビュー』画面にファイル名が表示されます。



- パソコンの[Shift]キーを押しながら2つのファイル名を続けてクリックすると、選択したファイル名に囲まれたものがすべて選択されます。
- パソコンの[Ctrl]キーを押しながらファイル名を複数クリックすると、クリックしたファイル名を複数選択することができます。

※ ただし、「タイトル」では、複数選択しても表示されるのは1ファイルのみです。